

馬淵川橋PC上部工工事 (FCC工法)

Construction of MABUCHI Bridge by FCC Method

川田建設㈱・東京支店

1. 工事紹介

本橋は、安代ジャンクションと八戸インターチェンジを結ぶ東北自動車道八戸線のうち、最終工事区間の安代、一戸間に位置する。現場は、東北本線と国道4号線を通すために、中央部と側径間の連結もトラベラーにて施工する。

施工範囲は、上り線を川田建設㈱、下り線を住友建設㈱が施工する。また上下線の目地幅が200mmと狭いために、同時施工とせず下り線先行で施工するが、積雪寒冷地でもあるため4月から11月までに橋体施工を完了しなければならない。

2. 主要諸元

橋梁型式：PC 4 径間連続ラーメン箱桁

橋 長：250m

桁 高：2.5~5.5m

幅 員：(上り線) 9.250m

(下り線) 9.750m

架設工法：FCC工法

3. 現場概要

P₁、P₂橋脚は、馬淵川をはさんで谷間に立地し、P₃橋脚は、山の斜面に位置している。そのため、橋脚回りのヤードが極端に狭く、トラベラー組立用の大型トラッククレーンを設置することや、資材の一括搬入をすることが困難である。そこで必要最小限の資機材等の搬入を行い、P₁、P₂橋脚にはセルフクライミングクレーンを設置し、P₃橋脚はラフタークレーンを使用して、トラベラーの組立及び資材の荷揚げを行う計画である。

表-1 トラベラー施工標準工程

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
トラベラー移動、据付型枠セット	■	■							
鉄筋組立PC鋼材配置			■	■					
内 型 枠 組 立				■					
上床版鉄筋組立横鋼棒組立					■	■			
コンクリート打設						■	■		
養生、脱型							■	■	
緊 張									■

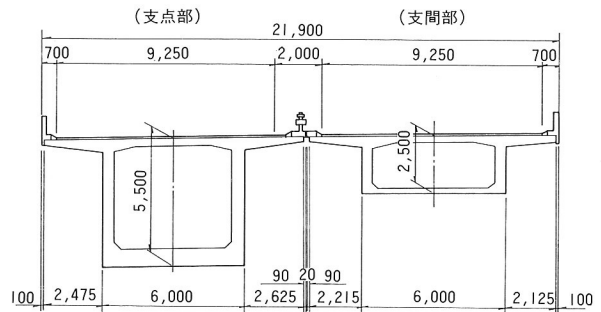


図-2 標準断面図

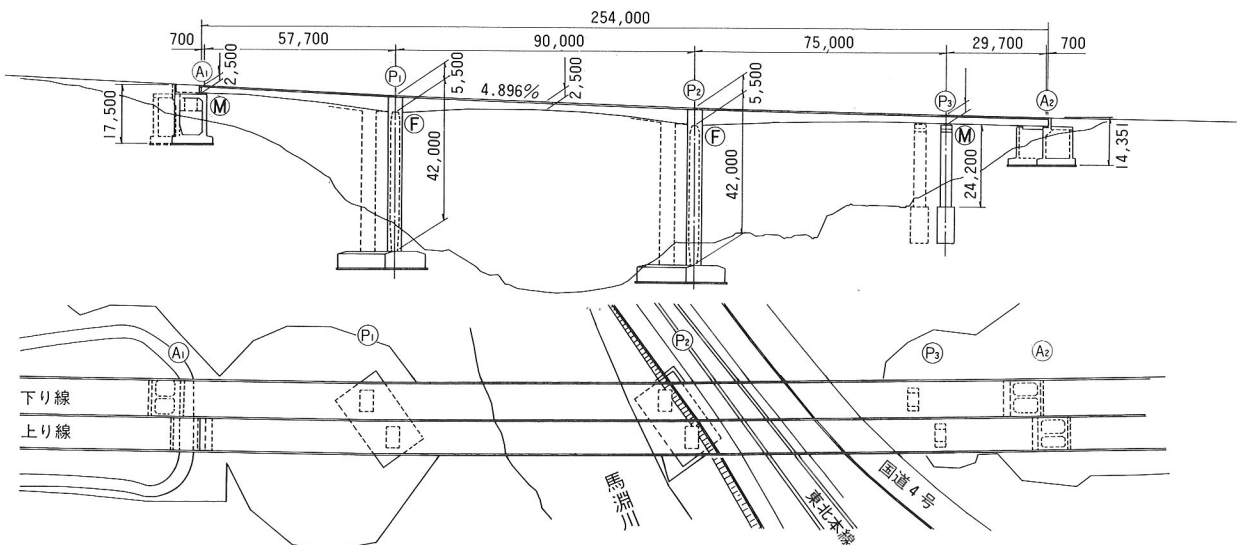


図-1 全体一般図

(文責・藤原範導)